

2017年度2-3期旅行の報告

2017年11月10日(金)朝は冷え込みはありましたが、お天気上々の中、香取神宮、佐原の街散策、キンビール取手工場の見学のバス旅行を行いました。参加者は33名でした。

熊谷駅南口を7時に出発、圏央道経由で途中、菖蒲SAでのトイレ休憩を挟み、圏央道から東関道に入り、佐原・香取ICで降りました。まずは最初の目的地 香取神宮へ参拝しました。



9:50 参道のお店を眺めながら神宮へ



参道の両側には寄進により建立された石灯笼が立ち並んでいました。



10:00
大鳥居をくぐって本殿へ

香取神宮は経津主大神(フツヌシノオオカミ)を御祭神とし、大神は天照大神の命により、国家建設の基を開き、建国の大功神とのこと。創紀は神武天皇18年で、現在の社殿は元禄13年の造営。



集合写真撮影

(3名の方は参道前の駐車場にて待機のため撮れませんでした)
ゴメンナサイ



境内では菊花展が開催され
見事な作品が展示されて
いました。



佐原の街までバスで移動し、佐原の街の散策

10:40 伊能忠敬記念館の見学



「全国を測る」
寛政12年(1800年)(55歳)から文化13年(1816年)(71歳)まで17年間、北海道から九州まで10回に渡って測量し続け、精密な日本地図を完成させた。

忠敬が使った測量度具が記念館には展示してありました。



象限儀 (しょうげんぎ)
忠敬の地図には☆印が付いています。この道具を使って天体観測を行った場所を示しています。

忠敬が作った
日本地図



記念館を見学し、人生50年の時代に55歳から71歳まで全国を歩き、精密な測量をもとに、日本地図を完成させた体力・気力は”ものすごい！”としか、言いようがなく驚きの連続でした。

11:40 小江戸佐原の街を散策



佐原の街を流れる小野川
「街並み舟巡り」をした方も・・・

樋橋の上を
散策する仲間



伊能忠敬の像と「この一歩から」の碑



12:00 「食事処 千与福」にて昼食





食事後街並み歩きへ



江戸情緒の行燈型看板



14:00 キリンビール取手工場へ
「一番搾り」の生産工場



玄関前の醸造釜

VTRで工場の概要を見た後
案内係の吉野さんに続いて
工場見学ツアーに出発
まずは醸造工場へ



入口で「麦芽」と
「ホップ」の説明

「麦芽」を試食した
方も...



「一番搾り」の製造工程を見学しました。



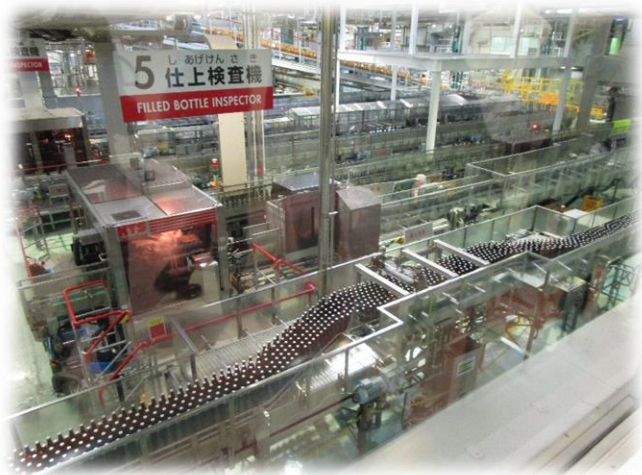
大きな煮沸釜



一番搾りと二番絞りの麦汁の飲み比べもあり味の違いがはっきり分かりました。



瓶に詰められたビールがすごいスピードで流れていました。



今は「自動化」から「自働化」へ変わり、単に「動く」だけではなく、「判断機能」をもって「働く」時代ですね。

15:00 工場見学も終わり、試飲会場へ移動



試飲会場では「一番搾り」「一番搾り(黒生)」「一番搾りプレミアム」の3種が用意され、約30分間自由に試飲しました。

今回の旅行は、朝は冷え込みが厳しかったですが、昼間は暖かい陽射しでお天気に恵まれ良かったです。

紅葉も一部見られ、香取神宮の参拝、その後小江戸と呼ばれる佐原の街並み散策予定でしたが、多くの方は伊能忠敬記念館の見学に入りました。

伊能忠敬が日本地図の作成のため測量を始めた55歳というのは、今でいえば70歳からという事であり、自分にはとても無理・・・と思われる方が多いと思います。まして、日本全国歩いて測量という偉業には驚くほかありませんでした。

しかし、「始めるに遅すぎることはない」という言葉を信じ、身体が動く間は何事にも挑戦して行きたいとも思いました。

皆さんも何かに常に挑戦してみても如何でしょうか？

キリンビール取手工場の見学では、麦汁の「一番搾り」と「二番搾り」の違いがこれ程あることを初めて知りました。

今回の旅行は大変、有意義で楽しい旅行でした。今回の旅行を企画して頂いた、橋本部長はじめ企画部員の皆さまありがとうございました。参加された皆さんお疲れさまでした。

(記: 加藤)